

総社市市民提案型事業

身近に感じはじめた 気候変動の影響や災害について

西郡地区の絆を推進する会
劔持 堅志

西郡地区について

- ◆ 吉備路の中心地に隣接した歴史ある地区
- ◆ 旧山陽道沿いの交通の要所であり、天満遺跡など、古墳時代からの歴史遺産に恵まれた地区
- ◆ 福山合戦(城趾)、幸山城趾など、南北朝から戦国時代にかけての戦略的要衝の地



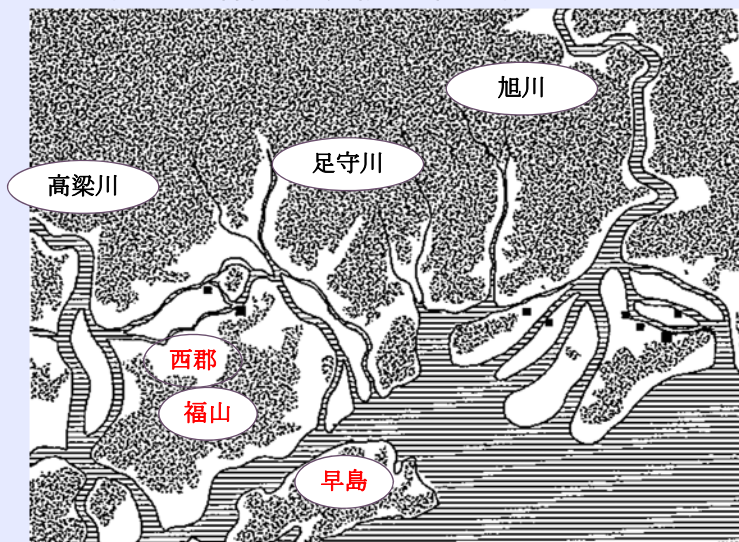
西郡の昔(旧山陽道)



なぜ旧山陽道が西郡地区を通っているのか？

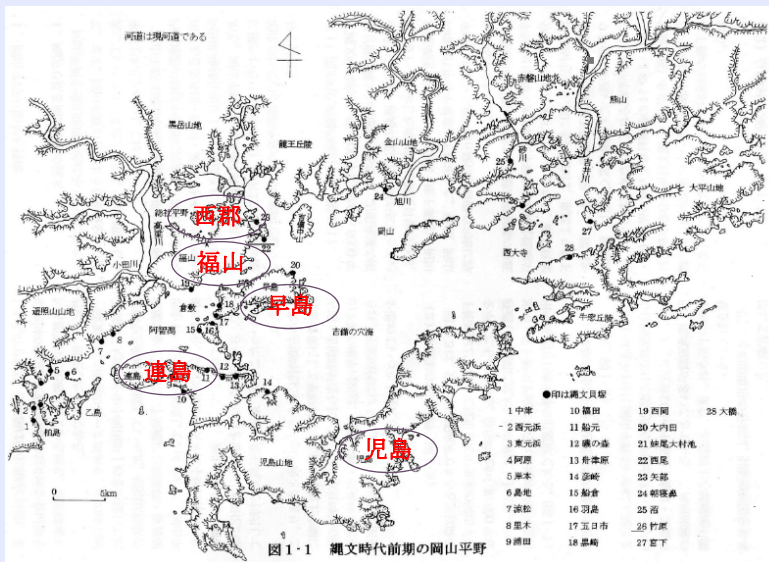
弥生時代前期の西郡

松木武彦著:人口と集落動態からみた弥生・古墳移行期の社会変化
国立民族博物館研究報告 第185集 2014年2月



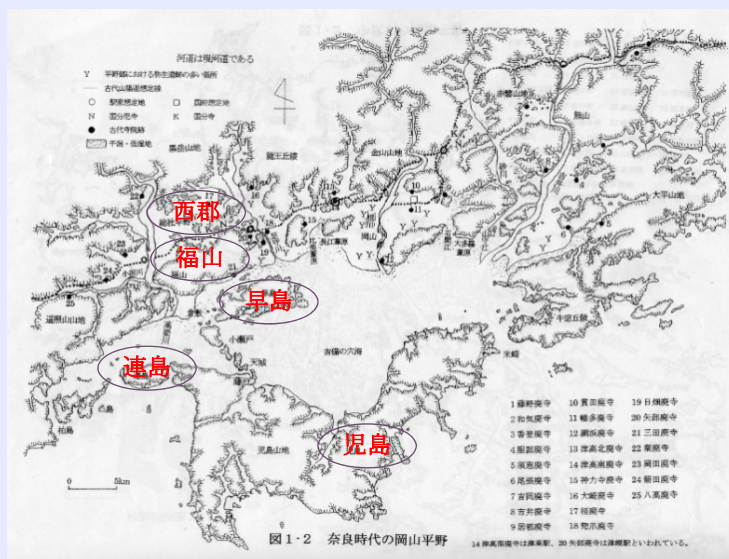
旧高梁川は、一部が東流(現在の前川)足守川と合流し、撫川付近で海に注いでいた。
主流の南流は東西に分流し、多くの土砂を海に運び、倉敷地区の陸地化に貢献した。

縄文時代の岡山平野



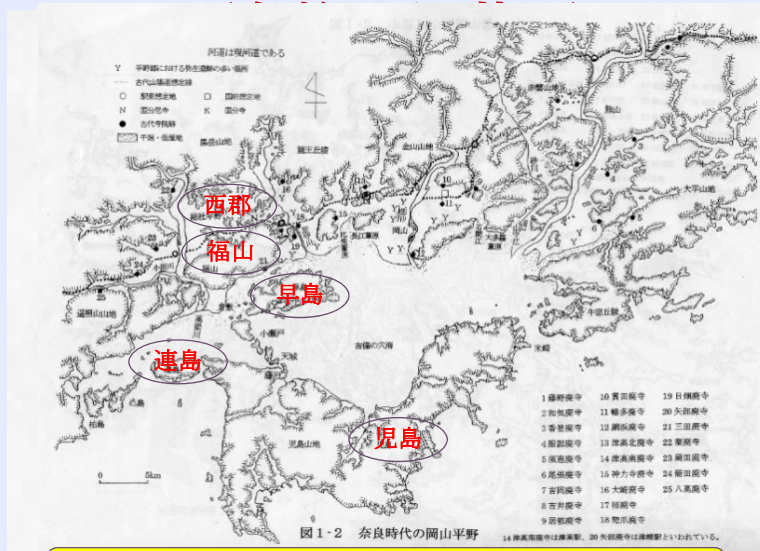
県南部のほとんどは海であった

奈良時代の岡山平野



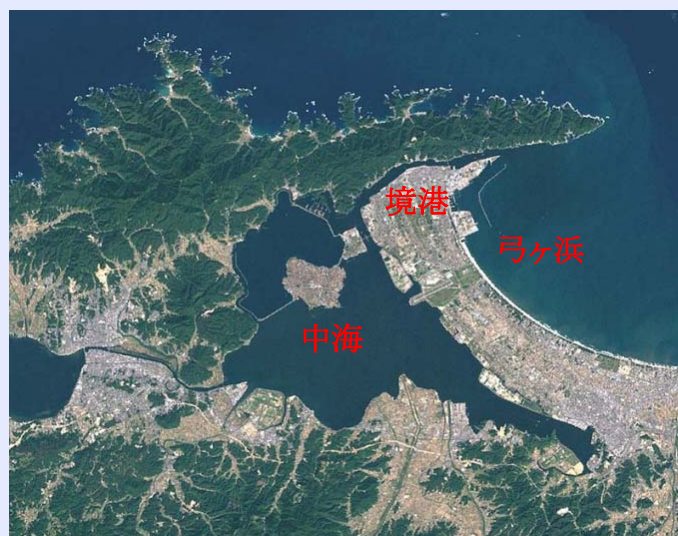
奈良時代になっても福山以南は海であった。

戦国時代末(1568年)の岡山平野

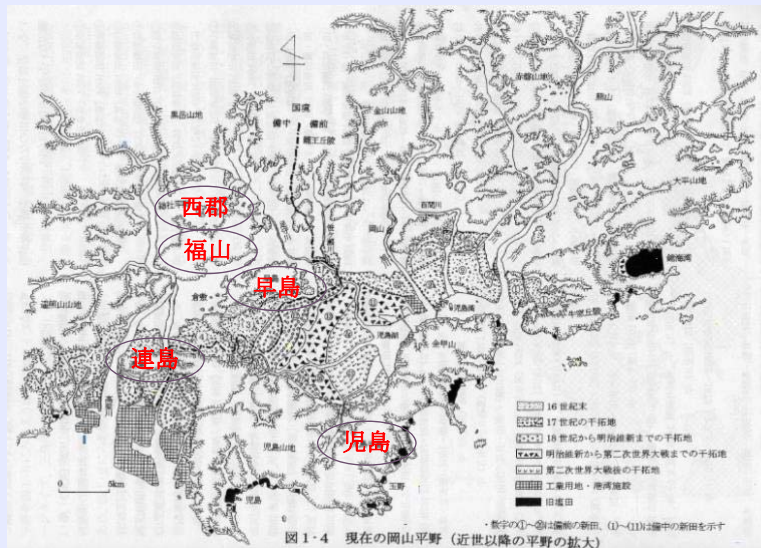


戦国時代末になると、高梁川から流れてくる土砂(砂鉄採取)により、福山以南(倉敷地区)の陸地化が進み始める。

鉄穴流し(かんなながし)による砂鉄採取は、弓ヶ浜の形成の原因



現在の岡山平野



古くから陸地化が進んだ吉備路は、交通の要衝、文化の中心地として栄えた。

古墳や古寺が多く残る地区は 災害が少ないと信じられてきた



作山古墳



備中国分寺

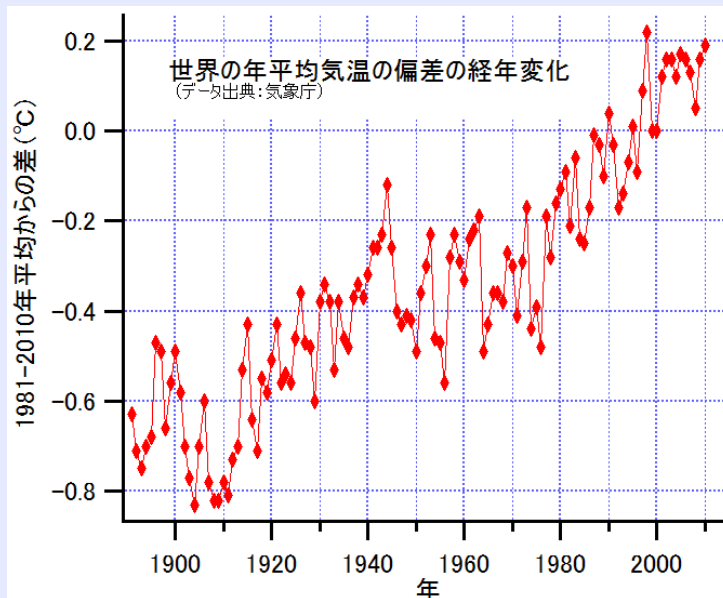


総社市市民提案型事業

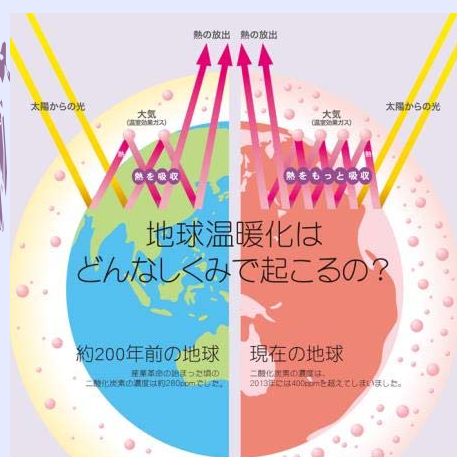
地球温暖化の影響について

平成28年度
防災講習会

地球の温暖化



地球温暖化の仕組み

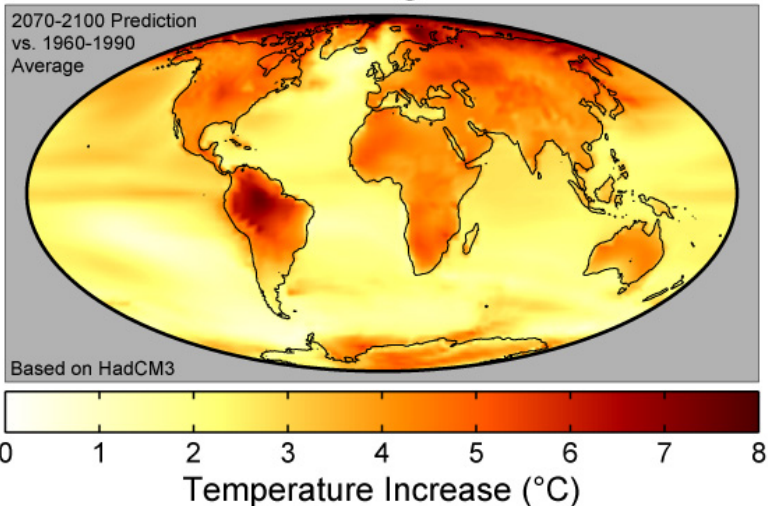


現在、地球の平均気温は14°C前後ですが、もし大気中に水蒸気、**二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガス**がなければマイナス19°Cくらいになります。

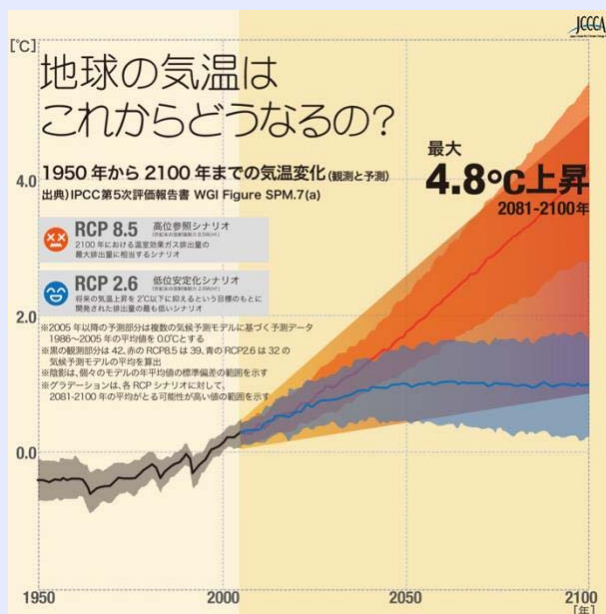
太陽から地球に降り注ぐ光は、地球の大気を素通りして地面を暖め、その地表から放射される熱を温室効果ガスが吸収し大気を暖めているからです。

地球温暖化(50年後の地球)

Global Warming Predictions



地球の気温の将来予測



身近に感じる地球温暖化

桜と桃が同時に咲く



北極海における海氷の消滅



総社市市民提案型事業

地球温暖化の影響について

風水害の増加

平成28年度
防災講習会

台風の襲来



集中豪雨

埼玉・所沢市上空
きょう午後4時ごろ

激撮 ヘリからとらえた!
「豪雨」「雷」もたらす“正体”



豪雨の日常化(熱帯雨林化)



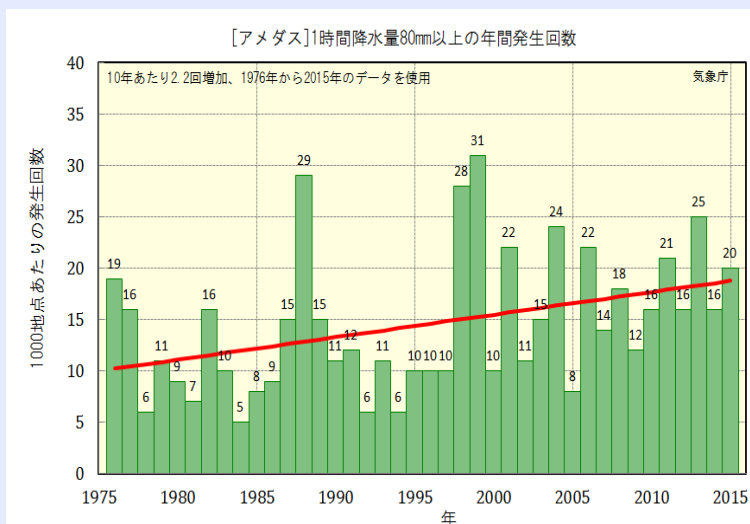
計画流量を超える豪雨



排水能力を超えた豪雨

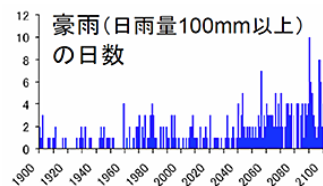
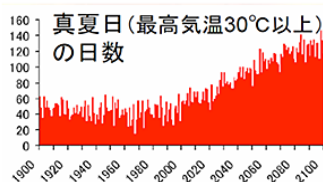


近年における豪雨発生回数の増加



地球温暖化の影響

日本の夏は暑く、悪天候が増える



真夏日の日数が増え、豪雨の頻度が大幅に増加する
(東大気候システム研究センター、国立環境研究所、地球環境フロンティア研究センター)

土砂災害の発生
平成26年8月20日未明 広島市



土砂災害の発生
平成26年8月20日未明 広島市





総社市との合併後10年を経過し 地区の姿が大きく変貌

宅地開発の進展
元気のよい子どもたちが目立つ活気ある地区への変貌
従来は地域の遊水池機能をはたしていた遊休地の消滅

2014/10/08 11:25

2014/10/08 11:41

総社市市民提案型事業

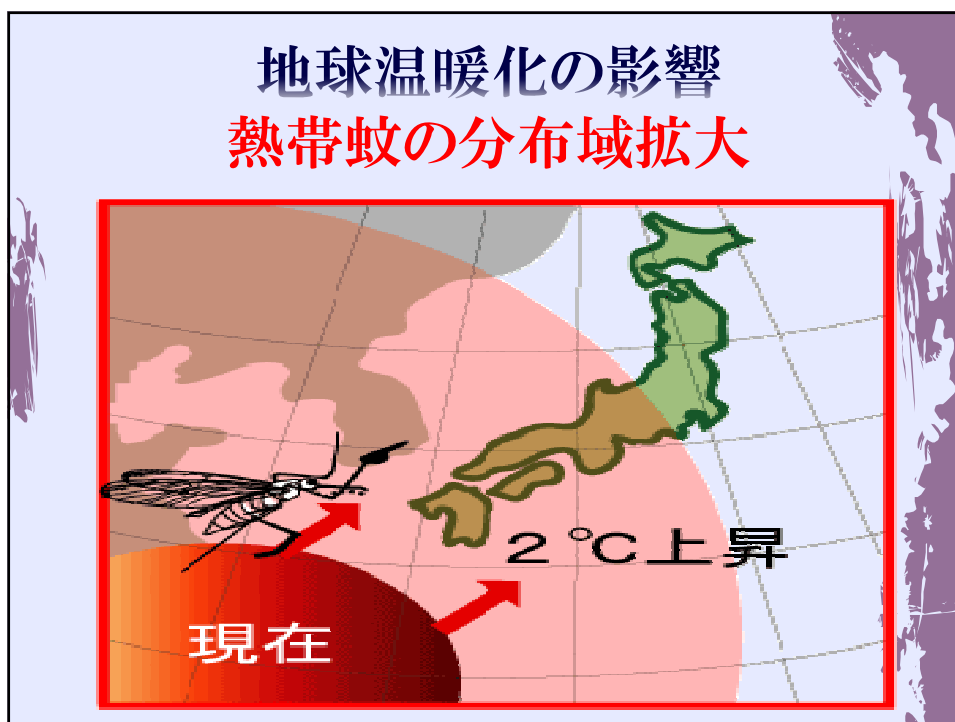
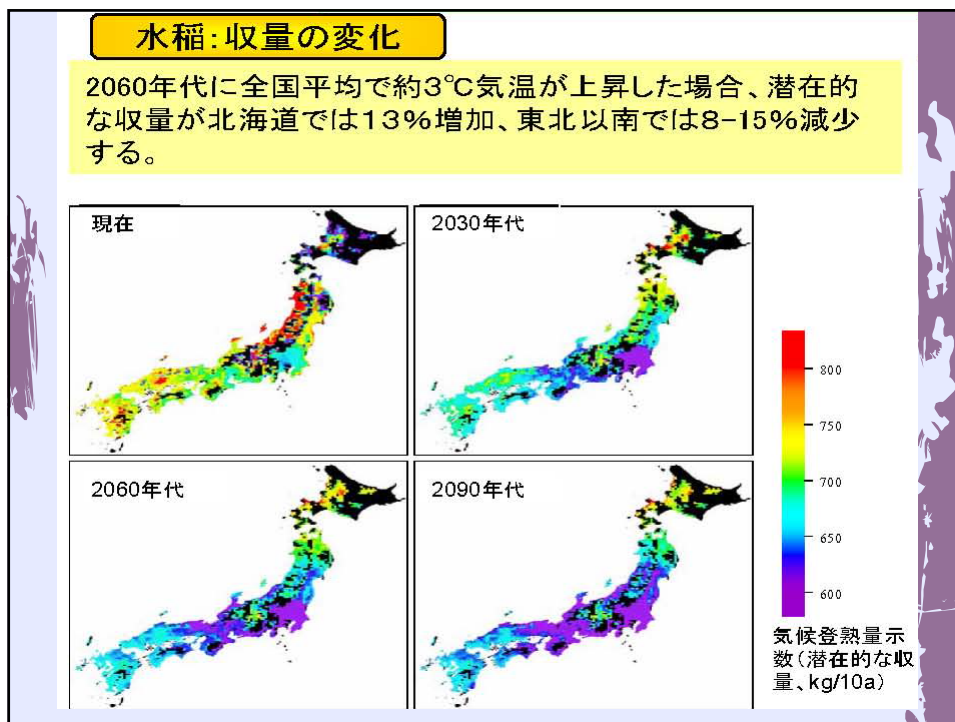
地球温暖化の影響について

農産物、感染症への影響

平成28年度
防災講習会

りんごの着色への影響





地球温暖化の影響 感染症リスクの増大

さまざまな感染症と感染経路の例

	媒介するもの	感染経路	感染症の種類
直接感染		咬まれる なめられる ひっかき傷 排泄物	狂犬病 パストレラ症 猫ひっかき病 トキソプラズマ症、回虫症
間接感染	媒介動物によるもの	蚊 ダニ げっ歯類 ノミ 巻き貝	日本脳炎、マラリア、デング熱、ウエストナイル熱、リフトバレー熱 ダニ媒介性脳炎 ハンタウイルス肺症候群 ペスト 日本住血吸虫
	環境が媒介するもの	水系汚染 土壌汚染	下痢症（コレラ等） 炭疽
	動物性食品が媒介するもの	肉 魚肉	腸管出血性大腸菌感染症（O157血清型）、サルモネラ症 アニサキス症

温暖化によって影響を受けると想定される感染症

地球温暖化の影響 感染症リスクの増大



出典6より作成

WHOが1998年のエルニーニョ現象による地域気象の変動によって発生が増加した感染症の分布を整理した図。このうち、マラリアなどでは降雨の変化の影響が大きく、また、とくにバングラデシュで発生したコレラは、海面温度や海面上昇により関与するプランクトンの分布の変動が影響していると考えられています。

災害に遭わないためには

- ◆ 日頃から地域を歩き、地域の状況を知っておくこと。
- ◆ 安全とされていた地域も状況の変化により安全でなくなる場合がある。
- ◆ 日頃から情報収集に努め、地域の持つリスクや避難経路を事前に把握しておく。
- ◆ 日頃から住民同士が語り会える関係を大切にし、「地域の絆」をつくる必要がある。